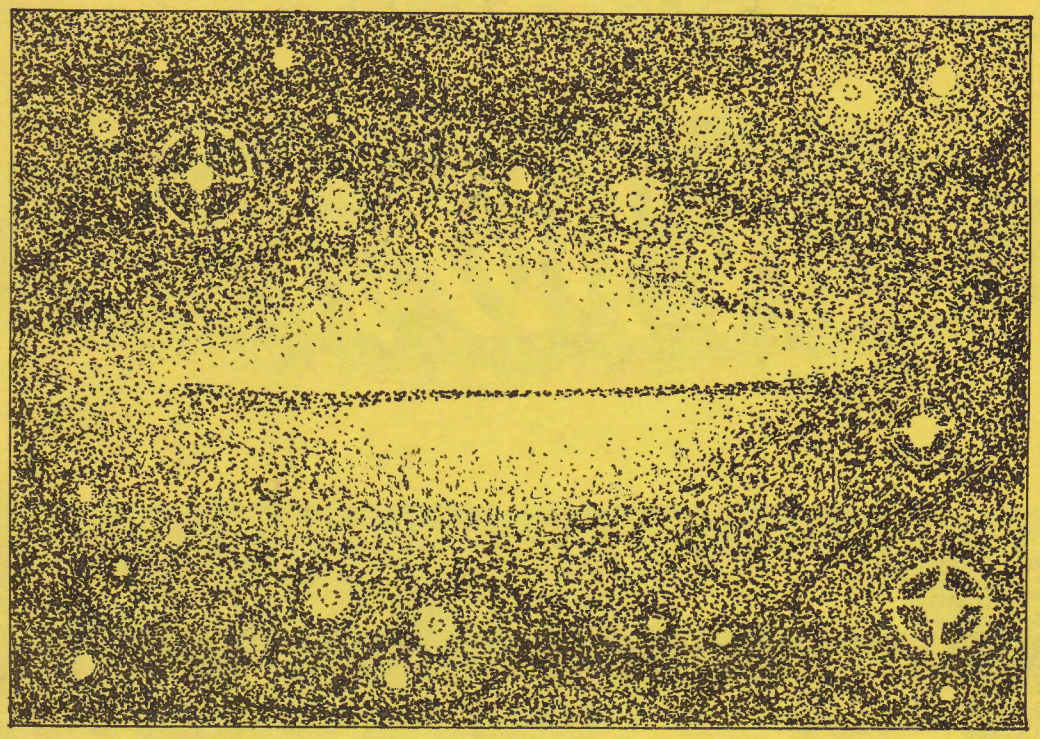
日本GAP山形支部報

ユニバーサルメッセージ

No.16



ユニバーサルメッセージ16

アダムスキーは不滅なり

久保田八郎　1~15

印象・即行動

山口成尚雄　16~17

おたより　18~20

お知らせ、編集後記　21

アダムスキーは不滅なり

久保田八郎

この記事は、昭和57年11月28日、仙台市で行なわれました第3回仙台・山形合同支部大会における久保田八郎会長による講演の筆記録ですが、一度会長へ転送し、加筆、訂正されたものです。

これからのGAP活動の意義、個人の実践にとって重要な示唆が数多く語られております。

（編者）

「掲載許可済」

もう一つの記憶要素

本日の題名は「アダムスキーは不滅なり」ということなんですが、なぜ不滅かと言いますと、アダムスキーという名は今でこそ一般に認められない訳ですが、今後いつかまた再浮上してきて、そして、日本はおろか世界的に知られるような時が来るだろうと、こう私が確信しているからであります。

今の時代はちょうど、イエスが2000年前になくなられて、それから300年後に口ーマの国教として認められるまでの間の大弾圧時代ですね。その迫害時代に相当するんじゃないかと思います。私たちは、そんな迫害を受けている訳じゃないですがね。ただアダムスキーという名前は、もう、ほとんど認められなくなったというぐらいで、それは、一般のことであって、私たちは結果して、研究・実践をやっているのでありますから、それは、それでやって行けば良いと思いますが。ですが、いつか世界じゅうが驚嘆して、アダムスキーをイエス以上に偉大な人であったと認める時が必ず来ると思います。いつ来るかということはわかりませんが、何百年後ではないでしょう。ここ数十年以内じゃないかと見ています。

そこで多くの人が疑問を起こします。そんな重大な人ならば、また、重大な事件があったならば、なぜ今、多くの学者とか、

政治家がそれを認めないのかと。これは私が今まで何度も受けた質問です。私みたいな、全くの無名の田舎青年が、こうして、一生懸命やっているというのはまるっきりおかしいのじゃないかという方もあるんですが、これに対する解釈としましては、人間の大脳による推理力ですね、大脳のどっちか半分をつかっているようですが、その大脳の推理力以外に、もっと別な記憶要素が人間の内部にありまして、それが人間に何か根本的な衝動を起こさせるのではあるまいかというふうに考えられるんです。

これは、今の科学・医学では解明できないことで、その科学的な根拠とか、物的証拠というものはありませんから、あまり声を大にして言えないんですが、とにかく同じような環境に生まれ育って、同じような教育を受けながら、一方では、全くこんなことを信じないで、お金、社会的地位や利権を求めて生きている人。それから一方では、利権などにあまり関心がなくて、宇宙の法則とか、まあ、こういう問題ですね。別な惑星には偉大な文明とか人間が居るという事を一生懸命に研究する方もある。同じような教育を受けながら、なぜ人間はこうまで別れて来るのだろうかということが、もう大変不思議なことなんです。

皆さん方の中にも高度な教育を授けられた方があると思いますが、同じ有名大学を出られた方でも、大半の方は、こういうことに関心を持たないで、立身出世街道を歩んでしまう、自分は違うんだという方がいらっしゃると思いますがね。そういうふうに別れるということは大変不思議です。

これは、今申しました通り、何か今の科学で解明できない記憶要素というようなものがあるんじゃあるまいかと思うんです。これをカルマと言います。カルマと言いますのは、よく私たちが使う言葉ですが、これは古代インドの言葉でありますけれども、本当の意味は、そういう意味じゃないかと思いますが、今私たちは、これを"宿命"というような意味にとって使っている訳でして、古代インド哲学の使っていたカルマとは、ちょっと意味が違うんですが、まあそれはいいでしょう。"宿命"というような意味でカルマと言っています。

円盤を目撃

しかし、根本的にはですね、アダムスキーが撮影しましたのと同じような金星型円盤と言われるもの、すなわち、金星のスカウトシップと言うんですが偵察機ですね。それとまったく同じ型の円盤が依然として、世界じゅうに現われますし、それから巨大な母船も目撃されているということなどから考えますと、アダムスキーがあの写真を

ねつ造して、模型か何かを写したんだという説が、完全にあやまっていることがわかります。

今だに言う人があるんです。あれは模型を撮影したと。日本でも、有名研究家が、まあ有名かどうか知りませんが、多少名の知られている、UFO研究家と言われる人が言ってますね。名前は出せないですけど、何人かいるんです。そして、アダムスキーをサギ氏だと言うんですが、それならば、今だに、ああしてアダムスキータイプの円盤が世界じゅうで出現してきて、しかもアダムスキーのことを何も知らない人までが、それを見たと言って、また円盤や母船の写真まで撮っている事実をどう説明するかというと相手はギャフンとなるでしょう。

「あれは模型が飛んでいるんだ」とまさか、いくらバカでも、そんなことまで言わないと思いますが、ある研究家に言わせれば、アダムスキータイプの円盤に限って、あれは本物じゃないんだと、全く訳のわからないことを言う。だんだん、しまいには説明にこまってきて、最後にアダムスキーが世界的に認められて、あれは本当だったということになると、まあ、その人たちは首をつらにやしようないですね。

私自身もいわゆるUFO。と言われる物体を見るんです。昨日も仙台へまいります途中、私一人で来たんですが、宇都宮を出てから、10分ぐらいして、時間で、ふと何ぐらいでしたかね、汽車の窓から、私はずーっと空中ばっかりを見て、想念を送っていたんです。そうしましたら、田園地帯の上空の斜上を黒い物体がまっすぐにスーと非常にきれいな飛び方をして流れたのを瞬間的でしたが見ました。それまでに鳥をたくさん見ていたんですが、鳥とは全然、別な物です。

それから、ご存知のように9/4には、静岡支部大会の翌日に、32名で市内観光に出ました時、二機の円盤がしょっちゅう私たちを上空から、つきまとうようにして飛んで歩いた。これはもう大勢の人が見ていますね。絶対まちがいありません。

住み良い世界のために

そういうことでして、いわゆる円盤問題というこの、いわゆるものは、おそらく今世紀末までのことじゃないかと思いますが、世界的な大問題になる時が来ると思うんですが、その時になってアダムスキーの名がものすごく有名になるときが私は確ず来ると見ていますが、その栄光にあやかろうとして私たちがやっているんじゃないんでして、そういうことを考えてやっているんならば、全く価値はありませんし、むしろ非常に次元の低いということになるでしょう。

そうじゃなしに、私たちは、そんなことよりも、自分自身を向上させよう、それから人を助けよう。助けると言っても、お金がなくて困っている人にお金を貸して上げようということじ

やなしに、他人が向上するのを助けて上げる。精神的な向上を助けて上げる。これをですね。そういうような活動としてやっている訳です。

なぜ人間は自分が精神的に向上しなくっちゃいけないかということなんですが、それは、ようするに、世の中が調和して住み良い世界になるために、各自、人間は向上しなくてはいけないということでして、住み良い社会にすれば良い訳です。これは利たちばかりでなく、世の中の人全部がそう考えなくてはいけないのですが、皆、考えないですね。住み良い世界にするためには調和ある世界にしなくてはいけないんだということなんですが、皆、考えない。

そうして結局の所、自分さえ良けりゃよいということになるんですが、そのために、大変動、大変災、あるいは大戦争というふうなものがあるんじゃあるまいか。ということになります。そうなった場合に又、私たちは私たちで助かって結束して、宇宙の方向へ行こうじゃありませんか。ということで、ここでやっている訳です。

真に助かるとは

その大変災があるかどうかは知りませんが、もしあった場合に、それを助かるということは、これはどういうことかということをつき止めて考えれば大変むずかしい問題です。例えば、日本列島をあちこちドカンドカンと巨大な地震があり、政府は壊滅状態になったというようなことになりますと、もう、自分は助かったと言っても、それは考えて見れば、大変ひどい状態の世の中に生きることですから、食べ物もない。殺人、強盗が至る所で行なわれるというような、そういう世の中になりますと、かえって生きていない方が良かったということになりますからね。それは第二次大戦直後の、あの日本の大混乱状態を考えてみれば、わかることなんです。だから本当にそういう場合の助かるということは、どういうことかというのはむずかしい問題ですが、もう一つ私たちが助かるという問題を考えてみますと、死んでもいいんです。死んでもいいんですが、どう世死ぬるならば善き惑星に転生をする。生まれ変わって行くということですね。これが最大の助かるという意味ではあるまいかと思うんです。

ところが、これには資格が必要でして誰もかれも、そういう善き惑星に転生出来るということにはなりません。これがつまりは、自分で自分の魂をみがいて、そうして、そのような準備をしなくてはいけない。人にやってもらう訳にはゆかない。これがつまり自分のことです。

日本GAPの会員の方々の中には、もともと、その進化した別な惑星からこの地球に転生して来て、地球人を救済するとかあるいは、こういう活動に参加するとか、あるいはまた、地球加の状態を学ぶとか、いうような意味で来ておられる方があるか

もしれません。皆さん方の中にもそういう方がいらっしゃるかもしれませんが。

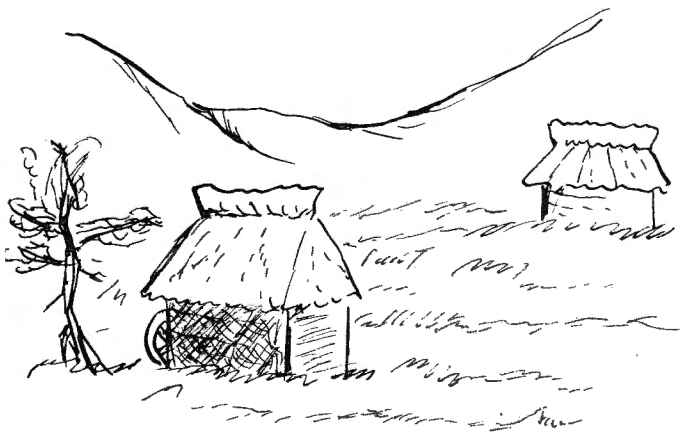
じゃ、そういう方が全部また、この生涯を終えたら確実に自分の元の惑星に帰えってゆくかと言ったら、そうでもないようですね。地球のあまりにも次元の低い環境にそまってしまって、むしろ堕落して、転生して帰れなくなるというような例もあるようですから、ここは要注意です。だから自分は別な惑星から来たんだと言うような強烈な印象があっても、けっしてゴウマンになるらないで、ますます謙虚になってやらなくちゃいけないということになるようです。

最近も、この方は全く、金星から転生して来た人だという人を私、会員の中で一人発見しているんです。ちょっと名前は今出せませんが、まろがいのないという人がいらっしゃいます。

でも、生きている間に、金星の素晴らしい状態を聞かされていいだろうなあ、行って見たいなあ、ああいう所へ。現身のまま——現身のままというのは肉体を持ったままということなんですが——現身のまま向こうへ行って、むこうで住みきりで、住んでしまえばいいだろうなあと思われる方が多いと思いますが、なかなかそれはむずかしいです。

たとえ行っても、あまりにも環境、および次元が違うために、順応が出来ていない人が行ったら悩みに悩んで、地球に帰りたい、帰りたいと言って、気違いになるかもしれないですね。これはちょうどクラッシック音楽の剣えばブルックナーとかマーラーとかいうような壮大な、あの交響曲を全く関心のない人に何時間も聞かせたら本人は気が狂ってしまうでしょう。関心のない壮大な交響曲もただの騒音にしか聞こえないでしょうからね。それと同じです。

でも、生きてる間に行かなくても、どうせ人間は死ぬるんです。私もいつかこの世を去るでしょうし、皆さん方も、いつかはもう、この世を去って行くんでして、どうせ死ぬるものならば、これが善き惑星に転生するための絶好のチャンスなんです。この絶好のチャンスを見逃がしたらダメです。いつか死ぬるんですよ皆さん。そんなことばっかり話しちゃ(一同笑)良くないですが——。しかし、まろがいないですこれは。



偉大な別な惑星に生まれ変わる順備を

地球の惑星に生まれ変わるかあるいは、別な惑星に瞬時にして行ってしまうかは、息の切れる瞬間です。息の切れるちょっと前頃に自分がどういう想念を持っているかということなんです。これは大変重大なんだそうでして、例えば、転生しなくても自分はまだ地球にいたい。地球に生まれ変わって、しかしこんどは女に生まれ変わろう。素晴らしい美人に生まれ変わろうというような気持ちがあれば、強烈な想念を持てば、やっぱりそういうふうになるそうですね。

ところが、今はそういうようなことを誰も教えないし、考えもしないで、みんな苦しみながら死ぬ訳です。だから結局それによって自分の過去、つまりこの今生における積み重ねの業績によって自動的に行く先が決まってしまう訳なんです。自動的に……。

ですから、もし皆さん方が、偉大な別な惑星に転生するんだ、偉大な惑星に行くんだということをまず強烈に意識して順備をするのです。そのために私たちは、このような研究活動をやっている訳なんです。

例えば、イエスが教えておられた頃に一人の金持ちの青年がやって来た。そうしてイエスになんと言ったかといいますと、『先生、私でも天国へ入れますでしょうか』とこう聞いた訳です。そこでイエスは何と言ったかといいますと、『おまえのような金の餓鬼が天国へ入るのは、ラクダが針の穴を通るよりもむずかしいんだ。』そんなことを考えるよりも家へ帰って寝とれ。そのほうがラクダ（同笑）と言ったかどうか知りませんが、青年は悲しそうな顔をして帰って行ったということです。

この青年もたいした人だと私見ていますがね。普通だったら逆に反発して、何を言うかこのじじと。自分は金がないものだからそんなこと言ってらと言って、怒って帰ったかもしれない。ところがこの青年は、悲しそうな顔をして帰っていったということは、相当な出来た人ですね。

これはどういうことかといいますと、天国というのは、別な偉大な惑星のことであって、偉大な惑星へ転生するのに、金でもって転生用のキップを買うことは出来ないんだという意味で言ったと思うんです。転生するためのキップは、金では絶対に買えないです。だいいち、そんなキップを売っている所もないんです。だから、お金のようなものに関心をもっているだけじゃダメだという意味で言ったと思うんです。

平等に大切に

しかし、私はここでお金を軽べつするようなことを言っているんじゃないんです。地球は数千年間に渡って、いわゆる貨幣経済で成り立ってきた社会で、お金がなかったら私たちは生活

出来ないしくみになっています。

お金というものは、今、必要なものです。これは一種の約束手形と同じようなものです。例えば、千円札があるとしますと、これを持ってゆけば、千円相当の品物をあげますという一種の約束手形です。大事なものです。私たちが事業をやっていて約束手形というものを非常に大事にするのと同じように、大切に扱わなくちゃいけないですね。だからそれは、それで大切に扱うというような気持ちをもって、そして、それを有効に使うということが必要だと思いますが、しかし、また一方このお金ばっかりに執着して、他のことは何も考えないというんじゃ転生は出来ないということになりますから、両方を大切に考える。両方というよりも、もっと大きく考えますと、世の中のありとあらゆる物を平等に大切に考えなくっちゃいけないということでしょうね。

なんでも、すべて必要ですから、不必要なものはまずないと考えられますからして、あらゆる物を平等に大切に考えるべきでしょう。だから金をそまつにする人は、お金が寄りついて来ない。お金の方からいやがって寄りついてこないです。

じゃ、そのお金に執着をもつことかというと、そうじゃなくて、お金をかわいがれば寄りついて来るんです。かわいがるということは、執着とかわいがるとは別問題です。ですから私たちは、とにかく転生というような壮大な宇宙空間の現象を年頭に入れて研究活動をやってゆこうじゃありませんかと呼びかけたいのです。

アリス・ポマロイ婦人からの書簡

人間は、あまりにも現実の一瞬、一瞬にとらわれ過ぎています。確かに現実の現在が、この一瞬が重要なんですが、とらわれるということと、重要視することも別問題だと思うんです。

転生の問題で必ずつきまとうのが、過去生の問題です。これはもちろん転生があるからには過去生というものがあるんですが、これに、あまりにもこだわりすぎて、やれ過去生がどうだった、過去はどうだったというふうに、そんなことばっかり言っている所じゃ、宇宙的な向上がありえない。

アメリカのマサチューセッツ州のノースボローという小さな町にお住まいのアリス・ポマロイという婦人がいらっしゃるのですが、これは、アダムスキーの一番弟子だった方です。アダムスキーが最もかわいがった一番弟子は、このアリス・ポマロイ婦人です。まだ健在です。

六十四五歳ぐらいですかね。昨年、ご主人が亡くなられたそうでして、このご主人が亡くなられたと聞きましたんです。彼女の書く肉筆の筆跡が非常にわかりにくい字でして、ご主人のウォルデンという字がクチャクチャと書いてあるもんだから、息子さんの名前のアレ

ンと読み違えて、息子さんが亡くなられたと思って、そのように私は、おくやみの手紙を出したんです。すると返事の手紙で間違えたことがわかったんですが、まあ、だんなさんも大変いい方でした。

そのアリス・ポマロイ婦人ですが、連絡が、このあいだ9/25付けでありまして、大変重要な宇宙哲学的なことが書いてありました。どういうことかと言いますと、これがその手紙なんです。

ここに写真が入ってますが、これは彼女の家に雪が積もっていて、ちょっと小さく見えますが、実はかなり大きな二階建ての家で、7年前に、ここへ私、三日間ほど滞在させていただいたんです。

なんと書いてあるかといいますと、プライベートなこともいろいろありますから、全部、読む訳にはゆきませんが、「アダムスキーによりますと、あなたの知っているように、過去・現在・未来はすべて一つである」とこう書いてある。過去と現在と未来という区別はないんだということですね。これは、ある偉大な哲人の言っている思想と全く同じです。ここの所がPlatoと書いてあります。すべて一つである。

それから、さらにいろいろ書いてあるんですが、「人間が宇宙の法則について、口で語るだけで、それを生活に生かさないならば、その本人のマインド心は、必然的に過去の方へ向かうんだ」ということです。そして、やたら過去世のことばかり言うようになってくるというんです。それは、なぜかというと「マインドは過去のことをよく知っているからだ」というんです。

それから「アダムスキーによると、人間は、いつまでも進歩しなければ絶滅する時が来る」完全に本人の個体がなくなってしまう時が来ると言ってますが、これは、皆さんも、すでにご存知の通りです。十四、五回または十五六回の生れ変りの期間を与えられるんですが、それでもなおかつ宇宙の法則に気付かないでいるならば、本人はもとの宇宙の意識という大海の中に帰ってしまって、本人の個体性はなくなってしまうんだということですね。これは、やっぱり書いてあります。

それからさらに彼女は、こういうふうに言っています。「自分の考えでは」と、こう前置きがしてありまして、「人間の来世に関する個人のフィーリングや信じていることがら（つまり来世というものはあるんだということを信じているか、あるいは全然そんなものはないんだと信じているか、どっちかです）そういうことは、いわば本人の運命によって色づけされるんだ」ということなんです。ということは、本人の運命がすでに来世を信じないような運命になっている。ということは、来世までに転生しないで、今生限りで絶滅するような運命にある人なのであって、これは、もう満期に達している訳なんです。だから、そういうようなことを言うんだという意味ですここは…。そして、そういう人は必然的に過去の方に

自分の関心を向けるということです。過去または過去世ですね。

それで、このことはアダムスキーの夫人であったメリーですね。この人が金星に生まれ変わって、そのようなことを言っていると、こう絡んであります。これも皆さん方すでにご存知の通りです。

アダムスキーが金星に行きまして、金星人の少女に（これは地球にいた頃の奥さんのメリーだったわけですが）この地球のことをいろいろ思い出して聞いてみた所、もう、地球のことは思い出したくない、過去のことは、すべて宇宙的な進歩にとって、さまたげになるだけだと言っています。これは実に偉大な哲学だと思うんです。そして、少女は、写真にまでも撮られたくないという。アダムスキーは写真を撮ろうと思ったようですが、写真を撮られたくない、なぜならば、写真を撮られると、それを見た人の想念がみんな自分の方へ向けられるからだということです。なかなか重要なことです。

そういうことが、この手紙の中に書いてあります。その他、非常に貴重な情報がこの中に盛られているんです。アメリカのあるグループに関して、非常に貴重な情報が盛られていますが、ちょっと言えませんので、だいたい手紙はこのぐらいにします。

洞察力をもて

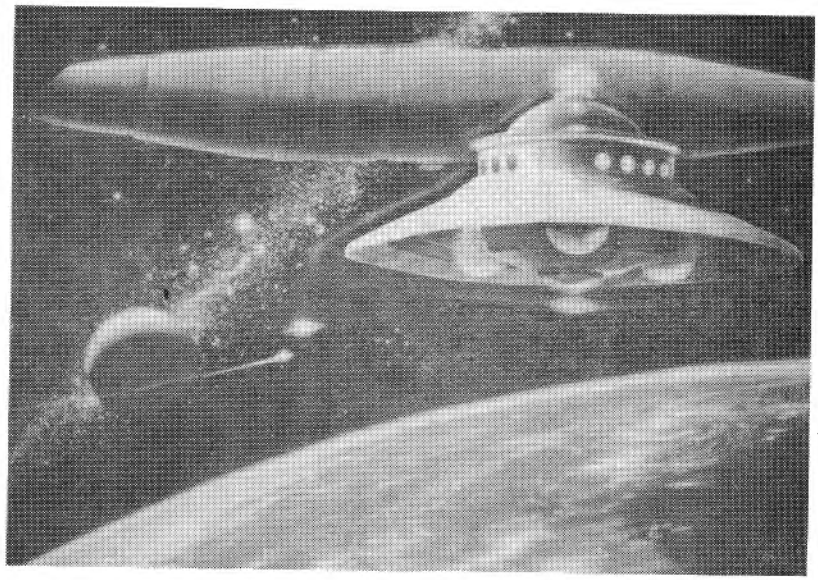
しかし以前に、私、ニューズレター機関誌にそのグループの人たちのことをべたほめに書いたために、今だに会員の方々の中には、あれは偉大な人々だと思っておられる方が多いようですが、それについてこの前も、ある地方支部代表の方が、私にこう言われるんです。「会長は人がよすぎる。あまり人のことをほめすぎる。もっとほめないようにしてくれ。あまりほめすぎるから、あとで妙なことになるんだ」というような注告がありましたが、確かにそうですね。（同笑）ほめる時はほめなくっちゃいけないんですが、私は、それは、ちと度が過ぎたと大いに反省しているんです。

それからテレパシーですね。これは、非常に重要でありまして、この頃、私、特に重要性を痛感して、そのテレパシックな能力を開発しようと本当に真剣になって考えているんです。だからこの頃私は、酒を飲ません。酒を飲むとテレパシーの開発練習に非常に良くないですね。酒は飲みませんが、ビールを少し（同爆笑）……ビールをコップに二、三杯程度なら酒の部類に入らないでしょうから、その程度ならかまわないと思います。ウイスキー、ジン、ショウチュウとか、ああいうきつい酒は一さい飲まないことにしようと思ってます。

テレパシックな洞察力を持たなくちゃいけないということは、なぜかと言いますと、これは一つは、実際に地球に来ておられるスペースブラザーズとかスペースシスターズとか、そういう方々にどっかで会った時に、それらしい人を見た時に

なんといっても私たちがテレパシーの能力でもって相手を見抜かなくっちゃいけないんです。むこうさんは、自分から「金星から来ましたよ」なんて、そんなこと言いやしませんからね。中には二七宇宙人がやって来て、自分は別な惑星から来た人間だと、ちょっと話があるから外へ行きませんかとか、ちょっと映画店に行きませんかとか、あるいはちょっと車に乗りませんかなどと言うでしょう。うっかりそれに乗せられたら最後、どこへつれて行かれるかわからないというようなこともあるかもしれません。特にアメリカは、ぶっそうな国ですから、そういうことがよくあるようですがね。まあ、日本はそういうことはないと思います。

そういうふうに相手が本物かニセ物かを見抜くためには、やっぱりテレパシックな洞察力、つまり見抜く力です。それを本当に身につけていないと相手の正体を見抜けないですね。テレパシーによる洞察力もいいですし、オーラを見る力もなかなか重要です。



オーラを見よう

スペースブラザーズとかスペーススターズという方は、素晴らしいオーラを持っておられるようですから、オーラの色までハッキリわかるようになれば、見あやまることはないと思います。

オーラ開発、透視の開発法というようなものもあるかもしれませんが、あまりむずかしく考えるとかえって具合が悪いんでして、黒いようなバックの前に自分の指を持ってきますと、指が明るく見えます。その指のふちをそーっと見るようにしますと、そこからボーッとオーラが出ているのがだいたい見えるはずです。しかし、ちょっと動かしますと目の網膜の残像によって、像が残りますから、それがオーラだと勘違いすることがあります。そのことに気を付けて、このふちを見る練習をするんです。

テレパシーがどうのこうのということは、ここで説明するまでもありません。アダムスキーのテキスト「テレパシー」をお読みになれば練習法その他いろいろなことがわかりますから、

ここでは省略しましょう。

大宇宙の根源なるもの

根本的には宇宙の意識というようなもの、つまり大宇宙の意識ですね。これと一体化するということが、何度も言われていることなんですが、なかなかこれはむずかしいです。ちょっと漠然としていますので、つかみどころがないかもしれません。大宇宙の意識といっても、これをまたさらにこまかく解釈しますと。これは、そうですね。まず無限の英知とか無限の力、無限の生命、無限の愛、無限の調和力ですね。こういったようなものをすべてひっくるめたようなものを大宇宙の意識と言っていると思います。

これを神と言ってもいいでしょうけれども、神と言いますと、ちょっと宗教的になってきますから、やはりアダムスキーが言っておりますように宇宙の意識です。人間が持っている普通の意識というものの根源なるものをつかむことはだいぶ違うんですけどね。しかし、もう意識としか言いようがないのでこう言っているんですけど、これをもっと言い換えて、天の父と言ってもいい訳ですし、あるいは仏と言ってもいいでしょうし言葉はどうでもいいと思いますが、何か、そういうようなものの実体というものをつかめば、それでいいと思うんです。その宇宙の意識というものが充満した世界が現象のこの物質の世界の奥に存在していることをどこまで認識できるか出来ないかによって決まると思います。

人間の発達程度というものがあるんなら、その証拠を見せてくれと言う人がよくあるんですが、これはもろん物的証拠なんていうものはないんです。あくまでフィーリングによる認識の問題でありますから、物的証拠というものを、そのだいたいボめようという考え方がまちがっているんで、そういうことを言っていたら大宇宙というものの根源なるものをつかむことは出来ないと思うんですけどね。

昔、哲学のレポートで、この大宇宙には、大生命が満ちているんだというようなことを私が書きましたら、それを批評した先生が、そんなものは宇宙にはないんだと書いて、返って来たことがあります。私がその時大生命と言ったのは、人間を生かしているあの機械的な生命じゃなくて、アダムスキーのいう宇宙の意識といったような意味で書いたんですが、どうもそういうことは、普通の哲学者は考えないですね。

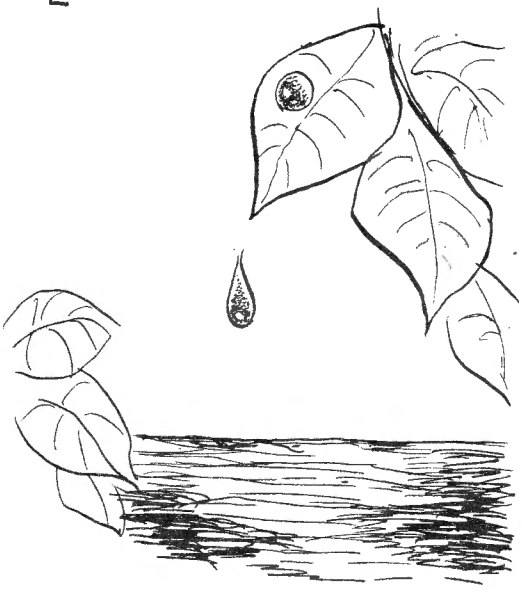
内部の意識の世界へ移住しよう

ですから、これはとにかく、信ずる人が信じてやってりゃいいんです。また、それなりの効果があると思います。私なんかも普通、自分自身を観察しますと、いかに、この目とか耳とかあるいは鼻とか口とかの4つの感覚器官に振り回されて生きているかということを痛切に感じ

るものですから、これじゃいけないという訳で、時々自分で冥想をやって、自分の内部に宿る（全身に宿るといってもいいでしょうが）その大宇宙の意識といいますか、それを自分で知覚しようというふうにやるわけです。冥想という言葉は、まあよくないかもしれませんが、そうとしか言いようがないですね。

これは、しょっちゅうやっているんです。そして自分が肉体でもって生きているんじゃなくて、その大宇宙の意識で生きているんだということをハッキリと認識するために、時々「コヤー！」と声をかけて、そして、その現象の世界からパーッと自分の生きている世界を切替えてしまおうというような、そういうフィーリング起こすようにしています。

これを、この間、総会のときの講演で内部の意識の世界へ移住しようというふうに私言いましたけれども、これは、一種の移住でもありますとかく私なんかは色気が多いですからね。



体の感覚器官による反応が強過ぎるんです。まあ、若い証拠かもしれませんが。（一同笑）

目はあれどもなきがごとく

しかし、どうしてもこの際私が脱却しなくてはいけないと思うのは、肉体の反応、感覚器官の反応、これは全然なくす訳にはゆかないですからね。目はやっぱり必要だし、耳も必要なんですが、目はあれどもなきがごとく、耳はあれどもなきがごとく、というような、そういう状態になるべきだと思うんです。

目は単なる窓です。外界からの光線を受け入れる窓、それから、耳は単なる聴音器です。その程度にとどめておいて、本当の自分は内部の知覚である。そういうようなことを考えてですね、この頃、そういう自分で、まあ通訓練を始めたといってもよいでしょうね。やっているんです。ですから、これはむずかしいですわ。口で言うのは簡単ですが、実行は大変むずかしいです。

地球人は、数千年を通じて肉体の感覚器官だけで反応をするように生き方をして来まして、それが完全に習性化していますから、私たちも、そういうふうな習性をもう身につけてしまいまして、そのカラを破るのが非常にむずかしいんですが、この際、やっぱりカラを破らなくちゃいけないでしょうね。

鳥が玉るのカラを破って中から飛び出るように、おもいきってやらなくちゃいけないだろう

と思うんです。

それが可能になってきますと、なにかしら不思議なことが起こります。悪いことはけっして起こりません。

これはそうでしょう。当然自分が万物を治す力の方向へ向かって、それと一体化するんですから、そのカが俄然働いて来るはずであって、奇跡的なことが次々と起こるのは当然でしょう。

したがって、ミラクルワードというようなものをとなえて、実現させるのは、そういう土台があれば、わけなしに、どんどん実現して来ると思います。これも今言いましたように、大宇宙の意識の世界に移住してしまって、その上でのミラクルワードをとなえ、イメージを描くならば、これは本当に力強いことで必ず実現するということになると思うんです。

知り合い、そして激励

最後に、GAPの意義について、この際、明確にしておきたいと思うんですが、GAPといいますのは Get acquainted Program を略した形であるということはご存知と思います。これは、知らせるという意味もありますし、知り合いになるという意味もあるんです。

イギリスでは、どちらかというと知らせるという意味を主体にとっているようですが、これは私が昔イギリス人の女の人に聞いたときに知らせるという意味があるとハッキリいってましたから、まちがいないと思います。ですが、アダムスキーは、いったいどういう意味でこれを始めたかということの本当の所は私にもあまりわからなかったんですが、最近、アリス・ポーロイ婦人から手紙が来ました時に、今お見せしましたんですが、それと一諸に、貴重な資料をまた送ってくれまして、これが同封してありました。

これは、アダムスキーが1957年の年賀状で各国のGAPリーダーあてに送った、一番最初の趣意書です。

私は、これから4年後の1961年にGAPに正式に加盟していますから、これはもらっていなかった訳です。もっとも私はGAPを始める前はアダムスキーとずっと個人的に文通はやっていましたが、日本GAPというのは始めていなかったから、これはもらっていなかったんです。

これを見ますと、コスペースづうガーズのすすめによってこれを始めた。各国の色々なアダムスキー問題を知って、その関心を持って研究を始めている人たちが、お互いに連絡をとり合って、自分が孤立しないで、孤立して一人で勉強をやったり、一人で研究をやっていると、時々疑問が起こって来るから、孤立しないでお互いに、そういう人たちだけがまず、知り合いになって結束してやるほうが良いということをこの際考えて、それで、そういうようなGAPという活動を始めることにしたというようなことが書いてあります。

ですから、これは一般の世の

中の人のあらゆる人と知り合いになるということではないですけれども、そ小よりもなにより、とにかくアダムスキー問題を知った人たちが孤立しないように知り合いになるための運動であるということが、これでハッキリして来た訳です。

これを今もって盛大にやっているのが、実にこの日本GAPなんです。全国に15箇所も支部がありまして、毎年盛大にこうして支部大会が開催され、久しぶりに遠方から集まって、お互いに旧交を暖め、激励し合う。これは本当にいいことでして、これは確実にスペースブラザーズのアドバイスに沿った線をやっているわけです。これは日本GAPだけで、私の知る限り、世界で、こんなにやっている所はないです。

GAPというのは、まだデンマークにもありますけどね。デンマークも、しかし、こんなにまでやっていないと思います。それから、ベルギーGAPは解散してしまいました。アメリカにはGAPという名称を使わないアダムスキー財団というのがありますが、あっちこちたまに講演をやるくらいのことで、お互いに結束しようというようなことまではやっていないようです。だいたいアメリカ人というのは非常に個人主義ですから、結束するというような風潮はないんでしょう。ですから、今後この線をうんと進めて行きます。

一大家族GAP

このGAP活動というのは、アダムスキー問題、及び宇宙哲学の探求、実践ということは、もろもろんですが、さらにこれをもっと家族主義的に進めて行きまして、GAPメンバーも全部一大家族だというようなつもりで、お互に助け合い、激励し合ってやって行くならば、素晴らしいことになるであろうと、私は考えている訳なんです。

ですから、この前の総会でも申しましたように、何か相談事があれば、遠慮なしに、まず地元のGAPのリーダーの方に相談し、そして、それでも解決がつかない場合は、私の方に知らせていただければできるだけの援助をいたしましょうと私が言っている訳です。

そして、GAP合同会で、この頃、結婚される方がしだいに増えて来たようですが、これは本当に素晴らしいことです。来年の5月にもまた山形県の方でも何かあるようでして、私、非常に期待していまして、大いに一つ、後押しをしようと考えています。皆さん方も、そういう線に沿ってやってゆかれるといいでしょう。

どう世人間は短い生涯でしたった二人だけで過ごさなければならないとなれば、全然、宇宙的なことに関心のない、逆に反対ばかりするような女性と一緒になったり、そういうだんなと一緒になると本当につまらないですからね。

世の中には異性は星の数ほどいるんですから選らびやいいん

です。選らびや！一人だけに決定されて、これが宿命だ宿命だなんて、そんなことを言ってることは何もないんです。人間は選択の自由がありますからね。だからこそミラクルワードやイメージを描いてやっていけば理想的な異性がGAP内部から出て来ると思います。そうして皆さん方の祝福を受けて、立食パーティで、会費制でやれば、お金がかからなくてすみます。

今年の5月に斉藤君の結婚披露パーティーをGAPで東京でやったんですが、本当に素晴らしかったですね。

そういうふうに、大いに家族主義的にやっていきたいと思いますので、遠慮なしに私にご相談下さい。できるだけのことはいたします。

時間がまいりましたので、このへんで終わらせていただきます。

仙台・山形合同支部大会

WELCOME!

付記

このたびの合同支部大会では「想念観察について」というテーマをもうけて、皆さんと話し合いが行なわれました。非常に活発な意見が多数だされ、皆さん方の日頃考えていることや体験談が発表されたことは、有意義なことでありました。この日のためにご尽力いただきました関係者一同に感謝いたします。

印象・即行動

山城尚雄

11月14日に開催された仙台、山形合同支部大会に参加させていただき有難とうございました。大変有意義な一日を過ごすことができ、お世話になった仙台・山形両支部の方々には感謝いたしております。

当大会では新しい企画として、会員同志の話し合いの場となる座談会が設けられましたが、このような試みは新鮮で、かつ、効果的なものと思います。この斬のテーマの一つであった「想念観察について」に関し、私自身最近体験したことを少し紹介したいと思います。

今年の7月頃のことですが、土旺日の夜、プロ野球のナイターを見ていますと、ふと内部からチャンネルを1(NHK総合)に切り替えようという印象が湧いてきました。私はアニチ巨人ファンで丁度その時巨人が負けていたものですから、心はこの印象に従うことに反対しました。しかし、今年の目標が「印象、即行動」であることを思い出し、さっそくチャンネルを切り替えたところ、「海外ウィークリー」の放映中で、しばらく見ていますと、ソ連の女性超能力者の話題となりました。この女性の名前は忘れましたが、ソ連国内では心霊治療家としてかなり有名な方で、故ブレジネフ書記長の心臓病も治療したとのことです。(このことについては、ソ連当局も否定していないそうです。)この話は以前から少し聞いたことがありましたので興味深く見ていますと、この女性の話として、年内中にソ連指導部に大きな変化があるだろうとの情報が紹介されました。その時、私は「これだ!!」と感じ、また、この「大きな変化」とはブレジネフの死を意味するのだろうとし思いました。そこでその後は、ソ連首脳部に関する記事が新聞に載ればスクラップにするようにしていました。また、この予知内容に関しては長野に転居された原弘子さんへの私信にも書き、また、10月の群馬支部月例会では、テレパシー線画の題材として、ブレジネフ書記長の顔写真入り新聞記事

を持参して透視してもらっています。そしてこの予知が11月10日に実現したことはみなさん御存知のとおりです。このニュースを聞いた時は少なからず驚きましたが、また内部の印象に従うことがいかに重要かも痛感した次第です。

私はここで予言類をもてはやそうとしているのではないことを御了解下さい。そんなことは、愚かな占い師がやればよいことです。私の言いたいのは、印象を感受した場合、それを実際に行動に移すことが重要だということで、上記の例で言えば、私が印象に従って手ヤニネルを切り替えなければその印象が正しいものであったのかどうかは永遠に分からなかったことでしょう。

また、この印象ということについて言えば、私自身仕事の関係上から、現在、ある資格に挑戦中ですが、これも内部の印象に従った結果です。夜間の専門学校に通って毎日勉強を続けるのはやはりつらいものですが、それにより新しい知識、新しい友人を得たことは大きな収穫でした。そして何よりも生活の流れが活動的となり、より良い方向へ回転を始めたように思います。

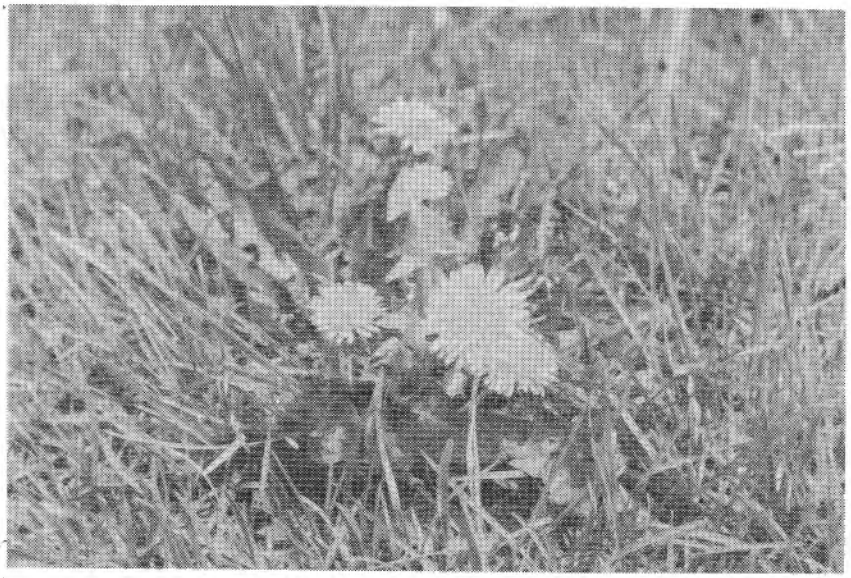
このような経験から最近では、

1. 印象は実際の行動により裏づけられねばならないこと、また、行動して初めてその印象が正しいものか、誤ったものかが判明すること。
2. 新たな行動は新たな印象を呼び起こすこと。

等を学びつつあります。いままで想念観察というと、とかく観念論的に考えがちで、同じところを行ったり来たりしていたように思いますが、今後はより実際的に応用して行こうという認識に至りました。

以上が大会の座談会に参加して感じたことで、アダムスキー哲学を実践されている方なら自も永知の事だとは思いますが、あえて書かせていただきました。

おたより



秋田県　本庄芳則

しばらくお手紙もさしあげず、失礼しておりますが皆さんお元気にお過ごしのことと思います。貴方様からお手紙をいただいてから2ケ月も過ぎてしまい、また安藤氏にもお手紙を出せず申しわけないと思っております。例の図形ですが、お手紙をいただいてから書きたいのは多くありましたが、書くという行動に思うように行かず、想念が思いというか、挫折しがちなよくない過去の習慣から脱げきれずにいたのでしょう。それでどういうわけか、こぐらい前より書きはじめることができ、2展げかりできて、そしていまようやく送ることができたのです。上手、下手は別として宇宙的想念で書いたつもりですが95%以上は古い習慣から生まれたもので、貴支部数の表紙に載せることができましたら、私も嬉しく思います。

秋田支部も毎回6人前後参加して同胞たちの協調を高めて内奥からくるエネルギーを出席するたびに体験することができ、口数の少ない私にとっては最高の豊かさを聞くことが何よりも楽しい思いです。しかしこれから雪のため参加困難になることもありますが、ゆっくりと時間をかければ、お金を使って楽しむ世間一般人よりはるかに越えた永い愛を見つけることができるでしょう。

問題は個人の信念です。誰でも人間は誕生という新鮮な身体をもって生まれるのに、その直後から俗次な人間になりさがっていきます。ここに地球人の大人の精神が植えつけられてしまうのですから我々一人一人の責任が重大なのです。真実を知らせる星動グループとして今後、活動し続けなければなりません。宇宙の中の地球はいま太陽を自身が回転して回っていることを忘れず、いまあなたは何をしていますかと聞かれたら、それに答えられるようにしたいと思っております。今まで私は本を読

むばかりで体験とか、実行など殆んどしなかったのですが、時間をかければいずれわかることなのですね。各人理解の段階があるように表現にもいろいろありますが、常に素直な状態を保持することが重要と思います。冬は非常に寒いです。我々の精神も環境に左右されますが、風当りの良い、おだやかな天気を思い出し、私たちもそんな気持ちで現世を過ごしたいと思っております。宇宙という大自然の中にいま同じ時間に私たちは何をしているのでしょう。ということも考えている私は過去の自分を非常にはずかしく思っています。互いに少ない人数ですが素直な気持ちでいれば何かよいことがあるでしょう。

山形GAPの皆さんにもよろしくお伝えください。

岩手県　柴田　仁

こちら岩手も毎日寒い日が続いています。山形の方はいかがですか、蔵王スキー場の方は大変な賑わいでしょう。お手紙いただいて返事も出さずに大変失礼いたしました。

十月の仙台、山形合同支部大会には出席出来ず残念でなりません。私事ですが、十月七日に結婚しまして旅行中でしたので都合つきませんでした。今年は必ず山形支部にまいりますのでその時はよろしくお願いいたします。

GAP会員の方から年賀状を頂きました。岩手にも支部をとの暖かい励ましを頂きましてなんとか設立へと意欲を燃しています。

今思い出しても旭川の支部大会は楽しい一時でした。仕事上の事で色々な集まりに出席する事がありますが、GAPは最高です。全体から湧き出るフィーリングが違っています。

ニューズレターを読んでいますと、新しい情報にハッとする事がございます。アダムスキー氏がいかに進歩した人だったのか改めて驚き、我が師を仰ぐしだいです。

最近「謀略」という本を読んで、政治家とはこれほどにも汚ない集団なのかとガックリときていた所でした。世界の経済のリーダーシップを取りつつある日本でこの様な有りさまなのですから世界は計り知る所です。やはり個人（）の内面、精神面から向上しかないのですね。これからも会員の方々とお会いして親交を深め前進していきますのでよろしくお願いします。

船橋市　松村芳え

ご返事ならびに、ご依頼の用件が遅れまして誠に申し訳ございません。

こちら千葉の方も暖冬のため雪など一回も降っておりません。清水さんは御結婚の準備等でお忙しい事と思いますが、益々元気で御活躍の事と思います。

過日（）の東京月例会は今までにない、素晴らしい雰囲気の中で、新しく司会者となった榛さんの力強く歯切れのよい絶妙な

る司会進行の中で大成功となり、今後の日本GAPを暗示した様な例会でありました。

又、過日（2/6）の静岡支部月例会では久保田会長の特別講演がありました。雰囲気も前日の東京月例会より上でした。久保田会長の方も前日は一睡もせずに、特別公演用に講演内容を考えられたほど、力が入れられておりました。月例会終了後は、前年の支部大会で使用されたステーションホテルの8Fで、GAP機関誌発行80号記念と静岡支部報発行50号記念の祝賀パーティが盛大に開催されました。参加者は、遠方からは北海道の吉田有香さん、松山の伊藤達夫さんなど28名でありました。中には書店で「宇宙哲学」という本を見て初めて参加された五島さんという方もいらっしゃいました。雰囲気はこれまた最高でありました。久保田会長ならびに野口敏治さんありがとうございました。

GAP活動は自分の生涯のライフワークとして考えておりまして、今回の静岡での祝賀パーティー、静岡月例会、東京月例会を機に、GAP活動に対しての信念を益々、確固たるものとしたしだいです。

私が会長の助手となってもう少しで一年がこようとしています。今までは日本GAPの現状を把握する事を重点に行動をして来ましたが、これよりは、積極的に、日本GAPを盛り上げるべく計画中です。ヤリマッセ!!

5月の米沢での大会は当然出席させていただきます。

現在の私は毎時間毎分、毎秒GAPの事ばかり考えております。（少しオーバーですが）そのため毎時間、毎分が素晴らしく充実しており、とても幸せです。落ち込む事を忘れてしまいました。

約束より大変遅れておりますが山形支部報への投稿も近いうちにさせていただきたく思います。

それでは次回の再会を楽しみにしております。

GAP山形支部 月例研究会

毎月楽しくやっています。ぜひ御参加下さい。本年からは宇宙哲学の本で勉強しておりなかなか難解ながらも壮大なイメージが開けて来るようです。これからが面白くなります。

○毎月第一日曜日 PM1:00〜5:00

○山形市福祉文化センター 0236-42-5181

○プログラム

・東京月例会における久保田八郎会長「宇宙哲学解説テープ」公開

・テレパシー練習

・意見発表、座談会、その他

※御注意

☆3月の月例会は山形市立図書館に変更します。

☆5月は米沢市で月例会 日曜に行なう予定です。

予告 第4回山形・仙台 合同支部大会

念願でありました、米沢に久保田会長をお招きしての大会が次の予定で行なうことになりました。会場とホテルの距離が少し離れている関係で、参加していただく方々には少々ご不便をおかけしますが、大成功にむけて、精一杯行ないますのでよろしくお願いいたします。（編者）

司会　田中義則氏

▨日時　5月22日（日）AM10:30～PM5:00　▨会費　2000円

▨会場　「置賜（おいたま）総合文化センター」　0238-21-6111
米沢駅からバスで「市役所行」に乗り「市役所」下車

▨プログラム
10:30 支部代表挨拶　清水正、笠原弘司
10:45 記録映画「エジプト、ヨーロッパ宇宙考古学の旅」
1:00 会員講演　伊藤暁史、漆山晃治
2:00 講演「宇宙の法則の生かし方」久保田八郎
3:40 休憩、記念撮影
4:00 質疑応答
5:00 閉会

▨夕食会　6:00～8:00
サンルートホテル米沢

▨宿舎　サンルートホテル米沢

▨大会翌日は天元台へドライブをします。

▨申込　山形支部　清水正まで

編集後記

○今回の支部報は、仙台・山形合同支部大会における久保田会長のご講演を全記録しましたために、なんといっても会長の話されることが、なんと力強く信念にみちたものか、来たる米沢での大会でも楽しみなことです。
また、支部報にて載せたいと思います。

○各地で支部大会が活発に行なわれる予定です。ぜひこちらのほうもふるって御参加下さい。5/10松山支部大会 5/24名古屋支部大会 6/1静岡支部大会。

○物事がどのように進んでいるのかわからなかったり、俗にいう落ち込みといったものは、結局自分のことしか考えていない状態から生まれて来るのがわかります。真ならばということで、内部からのフィーリングを高めて理屈ぬきで人と接したり、また何事にも活動的になったらそうしたことは解決の方へ向かいました。

（清水）

日本GAP山形支部機関誌
ユニバーサルメッセージ16号
編集発行人　清水　正
発行所　日本GAP山形支部
992 山形県米沢市松が岬2-4-31
でんわ 0238(21)5441
1983 2/25
頒価300円 送料120円